ボーリング柱状図

調　査　名　香椎駅周辺土地区画整理事業平成１９年度土質調査等業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	既存Ｎｏ．２		調査位置	福岡市東区香椎駅前２丁目						北緯	
発注機関	福岡市都市整備局　香椎進行整備事務所				調査期間	平成 19年 11月 7日 ～ 19年 1月 5日				東経	
調査業者名	新地研工業（株） 電話（092-611-5211）		主任技師	徳田　充樹	現場代理人	山下　堅志	コア鑑定者	山下　堅志		ボーリング責任者	井上　芳晴
孔口標高	+0.01m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	ＹＢＭ０５	ハンマー落下用具	トンビ
総掘進長	14.00m								エンジン	ヤンマーＮＦＡＤ８	ポンプ	ＹＢＭＧＰ５

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	-0.99	1.00	1.00		埋土・シルト混じり砂礫	淡褐灰			区画整理の造成盛土。 採石、砂岩礫、マサ土の混合土からなる。
2	-2.99	2.00	3.00		埋土・礫混じり砂質粘土	褐灰			旧海湾部の埋土て土。 強風化した砂岩，頁岩を主体とし粘土化進む。 深度2.70m～2.80mは砂質礫を含む。
4	-4.99	2.00	5.00		砂質礫	暗灰			φ２～40mmの礫が主体である。 マトリックスはシルト混じりの粗砂からなる。 貝殻片を混入する。
6	-6.19	1.20	6.20		粘土混じり砂礫	暗灰			上位は砂質礫層の漸位層で細粒砂岩礫を含む。
	-6.69	0.50	6.70		強風化砂岩	灰			コアは軟質で容易に土砂化する。 炭筋を挟む。
8	-8.09	1.40	8.10		礫岩	淡灰			新鮮で堅硬な岩盤。 割れ目が多く、コアは礫状～短柱状で採取、
9	-8.99	0.90	9.00		弱風化砂質頁岩	緑灰			弱風化しコアは若干軟質。 下部は固くなる。
10	-10.29	1.30	10.30		砂質頁岩	灰			コアは若干軟質でコア表面が粗い。 割れ目が多く発達する。
14	-13.99	3.70	14.00		頁岩	灰			深度10.55mまで礫岩層を挟む。 全体的に岩片は堅硬であるが割れ目が多くコア採取率が悪い。 概ね礫状～短柱状コアにて採取。 深度12.43m～12.50m炭質層を挟む。

孔内水位(m)／測定月日：11/21 2.30

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	2	6/30	6
1.45 / 2.15	3	2	2	7/30	7
2.45 / 3.15	1/15	1/15		2/30	2
3.45 / 4.15	1/15	1/15		2/30	2
4.45 / 5.15	2	3	5	10/30	10
5.45 / 6.15	2	3	7	12/30	12
6.45 / 7.05	50			50/10	150
7.15 / 8.15	10	13	18	41/30	41
8.45 / 9.10	27	23/5		50/15	100
9.25 / 10.05	34	16/3		50/13	115
10.18 / 11.00	50/9			50/9	167
11.09 / 12.15	11	15	24/8	50/28	54
12.43 / 13.00	50/3			50/3	500
13.03 / 14.00	50/4			50/4	375
14.04					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日

・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があり、現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。